

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) No251

(新著の紹介)

子どもが変わる綴り方教育・はがき新聞
今宮信吾先生(大阪大谷大学教育学部教授)

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

(ご紹介)



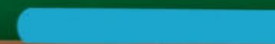
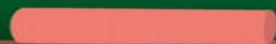
今宮 信吾

いまみや しんご

大阪大谷大学 教育学部教育学科 教授

兵庫教育大学学校教育研究科修了。兵庫県公立学校、神戸大学発達科学部附属住吉小学校、関西大学小学校開設準備委員、初等部教諭、私立大学教員を経て、2021年から現職。

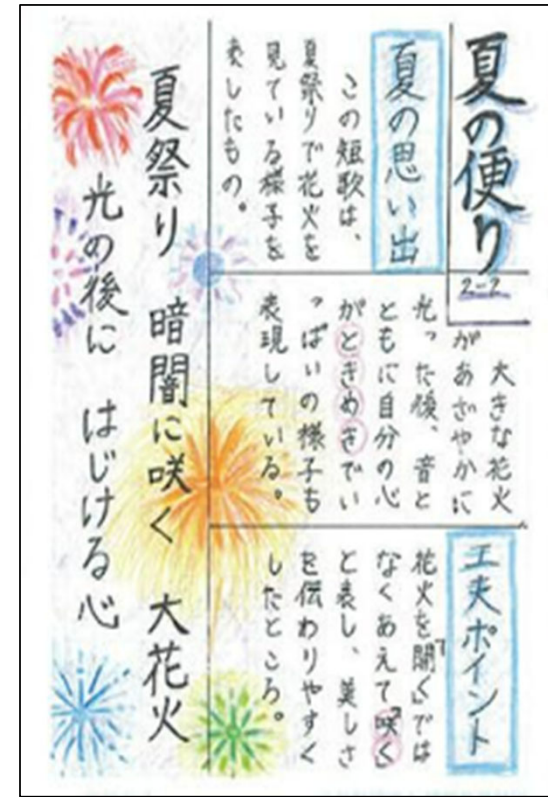
今宮信吾・田中博之 (2021).
NEW学級力向上プロジェクト: 小
中学校のクラスが変わる 学級カプ
ロット図誕生! (ダウンロード資料
付) 一金子書房



新著



今宮信吾・蛭谷みさ・彦田泰輔 (編) (2024). 「書けない」から「あっ書けた」へ 子どもが変わる はがき新聞のすすめ—小・中学校の実践— ミズノ 兎ブックス



それではご覧ください

自らを綴るということ

大阪大谷大学 今宮 信吾

私の履歴（綴り方教師として）

- 絶滅保護教師として生きる
 - 児童詩教育
 - 生活綴り方教育
 - 学級通信
-

自己紹介

- 29年間国公立小学校の教員一筋
 - 遅咲きの大学教員
 - 楽しいことは自分で作ることがモットー
-

本日の内容

- 1 綴ることと人をつながる意味
 - 2 作文と綴り方
 - 3 書けないことの意味
 - 4 手書きにこだわること
 - 5 教育の未来を見据えて
-



定価2,200円 (本体2,000円+税)

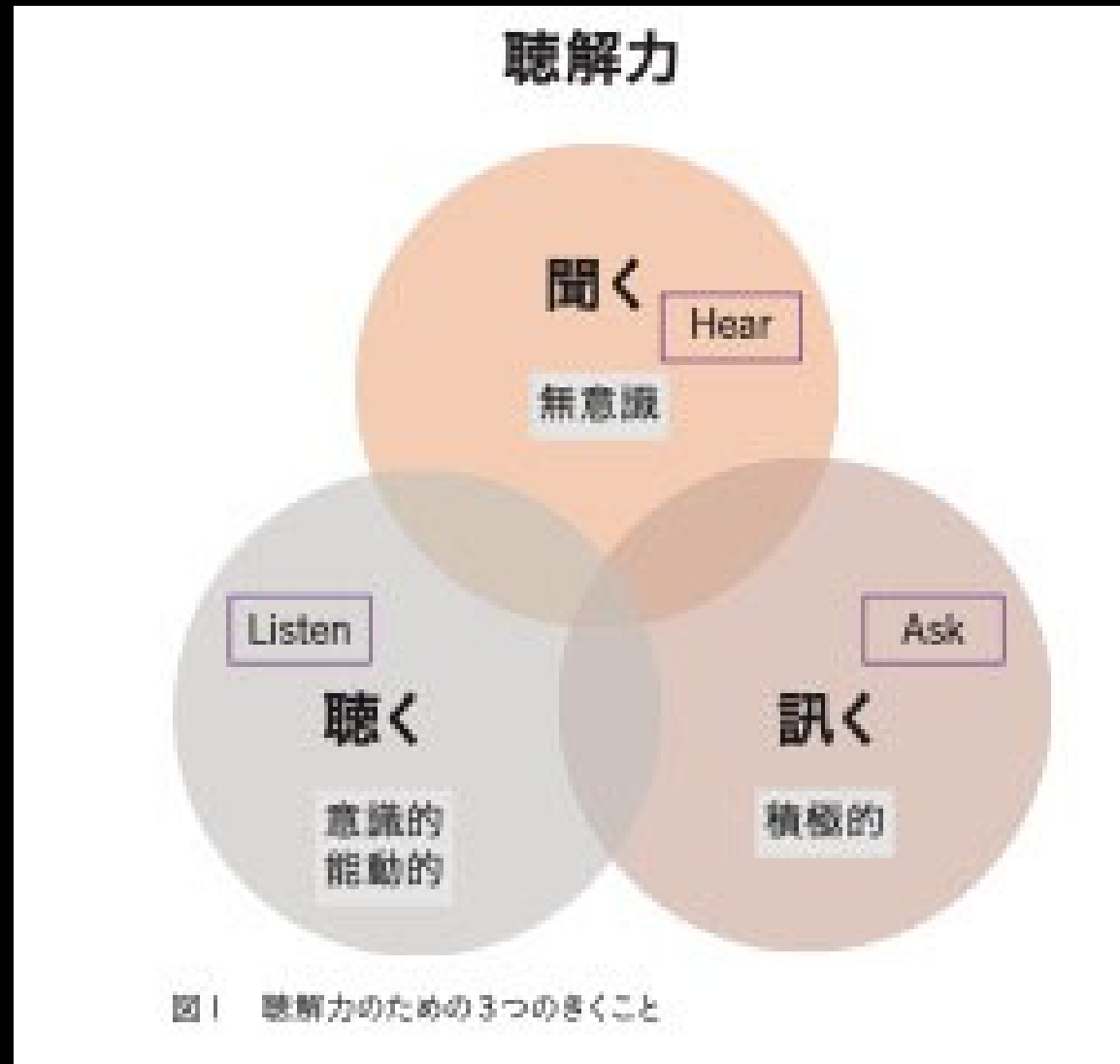
A5判 並製 152頁 オールカラー

コンテンツ
としての
はがき新聞

文を綴る

- 個として綴ること
 - 一人として綴ること
-

1 綴ることによって人とつながる意味



作文と綴り方

作文教育：子どもたちの発達段階を考慮し、系統的に文章の書き方に重点を置く教育。学習指導要領国語編に示された「書くこと」の領域で展開される。

生活綴り方教育：生活全般から書く内容を探し、生活をよりよくすることも目的として自らの生活を見つめ直すために書く教育。系統性よりも、自らの生活経験を重視しながら展開される。

書けない子もステージに乗れる

3 書けないことの意味

創作過程	観点
取材	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/>書くことが見つからない<input type="checkbox"/>書くことがあっても決められない<input type="checkbox"/>直接体験・経験が少ない
構想	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/>何から書いていいのかがわからない<input type="checkbox"/>何を中心にしていいのかがわからない<input type="checkbox"/>事実と意見の区別ができていない
記述	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/>書きたいことがあっても語彙が足りない<input type="checkbox"/>どの言葉をどのようにつなげばいいのかわからない<input type="checkbox"/>文字数に合わせて言い換えることができない
推敲	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/>読み返して誤字脱字に気づかない<input type="checkbox"/>読み手を意識して書けていない<input type="checkbox"/>書き換えるための文章が浮かばない

手で書く（打つとの違い）

- 文字が違う
 - 書く速さが違う
 - その時々で違う
-

子ども発見ができる

- 国語は嫌いだけれど
 - 勉強は嫌いだけれど
 - 学校は嫌いだけれど
-